

創業の精神

創業者である細川三郎は、1937年(昭和12年)3月31日に、5人兄弟の末っ子として広島に生まれました。

広島県出身の創業者は、原爆で父親と兄と姉の3人をうしない、母親が残された子供たち3人を女手一つで育て上げました。

創業者は幼少期の頃より、明治生まれの母親から「きちんと挨拶のできる人になりなさい、取り組んだことは最後まで責任を果たしなさい」と教えられて育ったのでした。

社会人となった創業者は、前職である建設資材メーカーに勤務することとなり、当時は常務取締役の重責を担っておりました。当時は、「朝は朝星 夜は夜星」といった具合に朝から晩まで本当に一生懸命我武者羅に働く毎日でした。

1972年(昭和47年)、日本の政治が田中内閣に引き継がれ、正に日本国中が建設・土木ラッシュに突入していました。創業者は、その様な国内の状況を肌で感じ、今から伸び行くこの建設・土木業界の一助を担いたいと思うようになったのです。そんな中、諸般の事情により前職を退職することとなり、今やらねばと考えを新たに独立を決意したのでした。

創業は1975年(昭和50年)で、当時の日本経済は新幹線の岡山・博多間が開通し、沖縄海洋博が開催され、政治では田中内閣が日本列島改造論を唱えて高度経済成長期の真っ只中でした。創業時に母からの教えとして、常に夢を持って感謝の気持ちを忘れず、自ら決断したことには責任を持ち、社会のために人様のために一生懸命に働くこと、この言葉こそが創業の精神であって私たち後継者に受け継がれた精神であり、社員の皆さんに対する基本姿勢でもあるのです。



後列左 (創業者)
細川 三郎

後列右 (創業者の妻)
細川 光子

前列 (創業者の母親)
細川 ハツミ



目次	1
創業の精神	2
経営理念 他	3
行動規範 (五つの誓い)	4
社名の由来	5
社章の想い (三矢の教え)	6
キャラクター	7
社歌 ~ 詩の想い ~	8
社歌 ~ 歌詞 ~	9
~ 楽譜 ~	10



SANKO BUILDING MATERIAL CO.,LTD.

【創業】 昭和50年(1975年)5月8日
 【資本金】 3,000万円
 【目的】 建築・土木資材の製造並びに販売
 上記各号物件の輸出入業
 高度管理医療機器の販売並びに賃貸
 【社員数】 30名(非正規従業員を含む)

住環境資材の製造・販売メーカーとして多様化するお客様のニーズにお応えし、新商品の開発・研究・安定供給を目指し、常に建築に携わる方々のお役に立つよう努力しています。エコロジーの観点からも「地球にやさしく、を合言葉に暮らしと環境を守ることを心掛けてサポートしています。」

たいき

SANKO  **大樹の経営** 苦しみの中から喜びが生まれてくる

根を養い、幹を育て、枝葉を伸ばす

喜びは枝葉を伸ばす
『うれしい』

感動は幹を育てる
『すばらしい』

感謝は根を養う
『ありがとう』

行動規範（五つの誓い）

一 革新

新しい考え方や、やり方を取り入れていくこと
やらされ仕事ではなく、自ら進んで企画仕事と取り組みましょう。
半学半教の精神で半分は学び、半分は広く皆様に教えましょう。

二 自立

目標に向かって自ら行動していくこと
メンターはあなたの自立を願って一定期間支援をする立場です。
いわば、あなたの自立を更に向上させるサポーターなのです。

三 素直

自分に対して素直で正直であること
常に感謝の気持ちを持って、自立心を高めましょう。
慈悲の心と感謝の気持ちで、他人に接することです。

四 責任

共に学ぶあなた自身が、自分のことは自分で責任を果たすこと
全てのことを自分で決めて、自分の責任で行動します。
上手いかないことを上司や部下、家族のせいにはしません。

五 約束

他人や自分との約束を守ること
私たちは社会の一員、そして会社の一員です。
生活条件は時を守り、場を清め、礼を正す。(森信三先生の言葉)

経営理念

私たちは、住環境資材を通じてお客様へのお役立ちと地域社会に貢献します。

私たちは、お客様に優れた品質の商品・サービスを提供し、より豊かな暮らしを応援することで、
地域社会のパートナーになることを目指します。

経営ビジョン

私たちは、住環境資材のスペシャリストを目指します。

私たちは、今日まで蓄積してきた技術・ノウハウを結集し、豊かな暮らしと光輝く未来の創造へチャレンジし続けることで、
社員の皆さんとお客様の物心両面の満足を追求します。

社訓

挨拶は他人より先に 謙虚な心で 質素に生きよ

挨拶は幸せの第一歩 願いを込めて笑顔で他人より先に。
実るほど頭を垂れる稲穂かな 傲慢な心は身を減ぼす。
華やかしきは減びゆくもの 質素な道を選択せよ。

サンコー三信条

慈悲の心 感謝の気持ち 共存共栄の精神

教育理念

考える力を身につける 全員が自立すること、自立している人間であれ。

人事理念

公平な評価 自ら行動することで成し遂げた達成感を共有し公平に評価し共に学び前進する。

経営方針

- 一、 私たちは企業価値を高めるため、適正な収益性を追求します。
- 一、 私たちは企業価値を高めるため、高級な教育性を追求します。
- 一、 私たちは企業価値を高めるため、社会貢献型の社会性を追求します。

事業目的

サンコー物産は、住環境資材の提供を生業とします。(住環境資材提供業)

私たちは見えないところから皆様の生活基盤を確かに支えています。

お客様に対する基本姿勢

私たちはお客様の期待を超えるサービスの提供を実現しお客様に感動して
いただけることを追求し続けます。

歴史的な人物・毛利元就(もうり もとなり)

室町時代後期から戦国時代にかけて、

安芸の国広島県西部(現・広島県安芸高田市吉田町 細川会長の出身地
から車で20分のところ)

戦国最高の知将と呼ばれ、中国地方の全域を支配した名将の教え

『 三矢の教え 』

晩年、毛利元就が病床に伏したある日、3人の子供 隆元・元春・隆景を
呼び、先ず父・元就が1本の矢を折って見せた。

次に、3本の矢を束ねて折ろうとするが、それは折れなかった。

その時3人の兄弟が力を合わせて毛利家を守れと告げた。

息子達はこの教えに従うことを誓った。

社章は、創業者(細川 三郎)の子供たち3人が仲睦まじく、

会社を盛り立てていくことを願っている。

(仲睦まじくは社章の3つの輪、中心の矢は右側に時を惜しむことなく

少しずつ天に昇るが如くの意味を表わしています)



社章の思い ― 三矢の教え ―

社名の由来

会社の設立は、1975年(昭和50年)5月8日。

創業者の細川三郎が前職を退職したのが3月31日で、

会社の設立が5月8日と日数が約1ヶ月ほどしかなく、

その間での大阪本社の設置、そして1事業部、

3営業所(名古屋・京都・広島)での事業開始。

5月8日開設時には、人員27名でのスタートとなった。

退職時にはまさかこんなことになるとは全く考えておらず、

何の準備もしていなかった。

急を要したことは、先ず社名をどうするのか? ということ。

私の名前が「三郎」で、妻の名前が「光子」、この頭文字をとって

『三光』と名付け、幹部社員3名に発表。

※ 三郎の思い

3人の子供たちが仲良く、姉弟愛で会社を支えてほしい

困難な時ほど力を合わせてほしい

※ 光子の思い

光り輝く未来に向かって、会社の永続を願い、

全身全霊で会社を支えてほしい

時は昭和50年、当時の社名はカタカナ文字の設立会社が多く、

時流に合わせ『三光』を『サンコー』としてはどうか、との意見もあり決定した。

次に夢は大きく、販売を主とした会社となる「三井物産」を目指そうと、

幹部の話し合いで「物産」をいただき、『サンコー物産株式会社』と決定。

協力の精神でやりぬく決意で決定したものです。

会社設立 昭和50年

その時に人財(人材)だけは27名でスタート。

その他は何もない。

ないないづくしで人々に支えられ今日まで来た。

私の先祖様に感謝。

母親に感謝。

兄・姉に感謝。

当社に商品を供給して下さった仕入先様、そして色々な場面で

活躍して下さった社員さんを思い詩にしました。

創立40周年を迎え、自分としても一区切りついた。

これからは、経験を積むしかない。

40年を振り返り、当社で働いて下さった人々にも感謝の念が一杯です。

母から教えられたことが基本となり、慈悲の心と感謝の気持ちを

中心に考えた詩です。

大自然の恵みを受けて、春・夏・秋とに分けて詩にまとめています。

社歌

ー 詩の思い ー



徳川幕府は、300年続いた。
そのために、続く仕組みを作った。



「鶴は千年、亀は万年」といわれます。
サンコー物産株式会社は
夢は大きく企業の存続を万年と定め、
永久的に『細く永く』少しずつ前進すればよい。

創業者(細川 三郎)は五年です。
創業者も、牛も、亀も決して早くはない。
今の勝利を望むより、遠い未来を夢見て、限りなく少しずつ
伸び続ける姿を望む。



こんなことを思い、日本昔話の中から

～ 紀元前六世紀の頃 ～
うさぎとかめのかげっこのお話し。
最終章でかめさんが勝利したお話し。

サンコーもこれを見習う方法で前進する。

それは、古代ギリシャ、
イソップが創った物語で、
日本には1593年頃に伝えられ、
日本昔話と同じように親しまれました。
「人間の生き方」を教えてくれた物語です。

この物語の中で、母から教えられたこともあります。
人間は常に

- ※ 挨拶の道 あいさつは幸せの第一歩 願いを込めて笑顔で人より先に
- ※ 謙虚な道 実るほど頭が下がる稲穂かな 傲慢な心は身を滅ぼす
- ※ 質素な道 華やかしきは滅びゆくもの 質素な道を選択せよ

人間が人間らしく生きていくための物語です。
サンコー物産株式会社の全社員の方は、強く正しく生き抜きます。

継続は力なり。



キヤラクター



サンコー物産 社歌

作詞／細川 三郎 作曲／高山 華奈



は る の ひ は ゆ る ど う と ん ぼ り が わ



か く し ん の ち か ら は か ん せ い を み が く



あ い さ つ の み ち し あ わ せ の い っ ぽ



ふ か き で ん と う う け つ ぎ ま も る



わ れ ら は ほ こ る サ ン コ ー の ぶ ん か



あ あ サ ン コ ー か ん しゃ の か い しゃ

春の陽映ゆる 道頓堀川 革新の力は 感性を磨く
挨拶の道 幸せの一步 深き伝統 受け継ぎ守る
吾等は誇る サンコーの文化
ああサンコー 感謝の会社

夏清流の 道頓堀川 自立の力は 発展の道
謙虚な道 傾聴の奇跡 古き文化は 吾等の歴史
産業の発展 心に誓う
ああサンコー 希望の会社

秋豊かな 道頓堀川 素直な心で 正しく生きよ
質素な道 感謝を紡ぐ 夢は大きく 未来を語れ
広き世界の 荒波超えて
ああサンコー 平和の会社

